

# データヘルス計画（第1期） 年次報告書

---

[ 平成28年度 ]

最終更新日：平成 30 年 04 月 06 日

フォーラムエンジニアリング健康保険組合

# STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	28991
組合名称	フォーラムエンジニアリング健康保険組合
形態	単一
業種	労働者派遣業

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
被保険者数	-名	5,120名	5,378名
* 平均年齢は	男性-%	男性89.6%	男性67.6%
特例退職被保険者を除く	(平均年齢-歳) *	(平均年齢33.7歳) *	(平均年齢34.8歳) *
	女性-%	女性10.4%	女性13.4%
	(平均年齢-歳) *	(平均年齢32.9歳) *	(平均年齢33.2歳) *
特例退職被保険者数	-名	0名	0名
加入者数	-名	6,949名	7,568名
適用事業所数	-カ所	4カ所	4カ所
対象となる拠点数	-カ所	21カ所	4カ所
保険料率 *調整を含む	-%	104% <sup>00</sup>	104% <sup>00</sup>

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	-	-	0	2	0	2
	保健師等	-	-	1	0	1	0
事業主	産業医	-	-	0	18	0	18
	保健師等	-	-	0	0	0	0

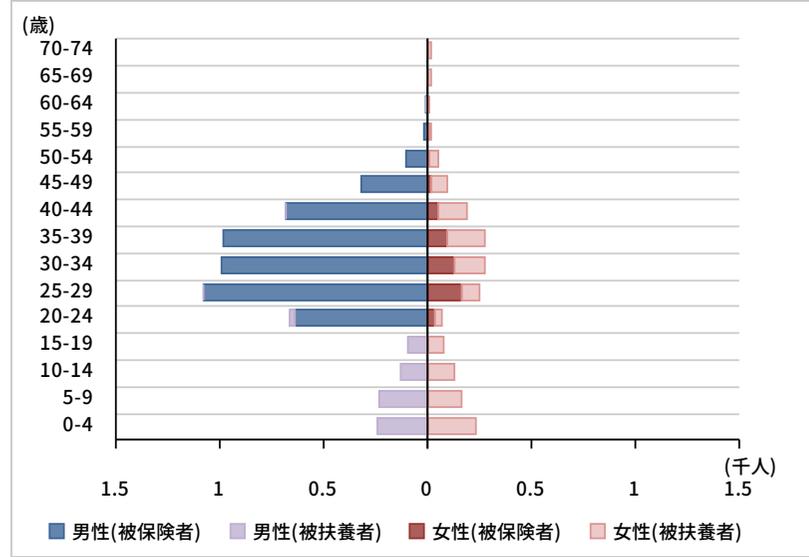
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定健康診査実施率	全体	-%	87.0%	87.0%
	被保険者	-%	92%	92%
	被扶養者	-%	64%	64%
特定保健指導実施率	全体	-%	7.2%	7.2%
	被保険者	-%	7.2%	7.2%
	被扶養者	-%	5.9%	5.9%

		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	-	-	6,580	1,285	8,175	1,520
	特定保健指導事業費	-	-	1,118	218	471	88
	保健指導宣伝費	-	-	6,524	1,274	5,058	940
	疾病予防費	-	-	86,904	16,973	79,591	14,799
	体育奨励費	-	-	4,150	811	3,226	600
	直営保養所費	-	-	0	0	0	0
	その他	-	-	25,792	5,038	22,877	4,254
	小計 …a	0	-	131,068	25,599	119,398	22,201
経常支出合計 …b	-	-	2,180,897	425,956	2,065,223	384,013	
a/b×100 (%)	-	-	6.01		5.78		

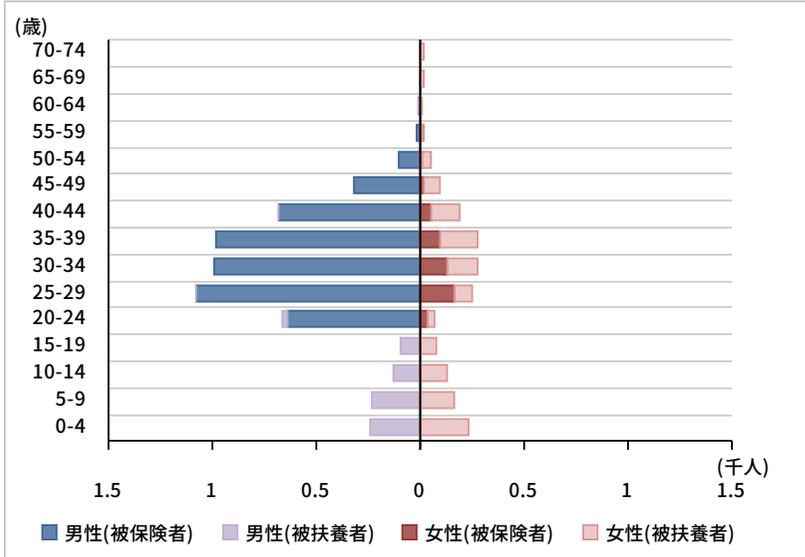
平成27年度



平成28年度



平成29年度



## 男性（被保険者）

平成27年度				平成28年度				平成29年度			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	-人	15～19	-人	10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人
20～24	-人	25～29	-人	20～24	640人	25～29	1,074人	20～24	640人	25～29	1,074人
30～34	-人	35～39	-人	30～34	988人	35～39	986人	30～34	988人	35～39	986人
40～44	-人	45～49	-人	40～44	685人	45～49	322人	40～44	685人	45～49	322人
50～54	-人	55～59	-人	50～54	103人	55～59	19人	50～54	103人	55～59	19人
60～64	-人	65～69	-人	60～64	9人	65～69	3人	60～64	9人	65～69	3人
70～74	-人			70～74	1人			70～74	1人		

## 女性（被保険者）

平成27年度				平成28年度				平成29年度			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	-人	15～19	-人	10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人
20～24	-人	25～29	-人	20～24	36人	25～29	167人	20～24	36人	25～29	167人
30～34	-人	35～39	-人	30～34	133人	35～39	96人	30～34	133人	35～39	96人
40～44	-人	45～49	-人	40～44	48人	45～49	20人	40～44	48人	45～49	20人
50～54	-人	55～59	-人	50～54	12人	55～59	5人	50～54	12人	55～59	5人
60～64	-人	65～69	-人	60～64	1人	65～69	1人	60～64	1人	65～69	1人
70～74	-人			70～74	1人			70～74	1人		

## 男性（被扶養者）

平成27年度				平成28年度				平成29年度			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	244人	5～9	236人	0～4	244人	5～9	236人
10～14	-人	15～19	-人	10～14	132人	15～19	95人	10～14	132人	15～19	95人
20～24	-人	25～29	-人	20～24	30人	25～29	3人	20～24	30人	25～29	3人
30～34	-人	35～39	-人	30～34	0人	35～39	0人	30～34	0人	35～39	0人
40～44	-人	45～49	-人	40～44	1人	45～49	0人	40～44	1人	45～49	0人
50～54	-人	55～59	-人	50～54	0人	55～59	0人	50～54	0人	55～59	0人
60～64	-人	65～69	-人	60～64	1人	65～69	0人	60～64	1人	65～69	0人
70～74	-人			70～74	1人			70～74	1人		

## 女性（被扶養者）

平成27年度				平成28年度				平成29年度			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	236人	5～9	164人	0～4	236人	5～9	164人
10～14	-人	15～19	-人	10～14	133人	15～19	80人	10～14	133人	15～19	80人
20～24	-人	25～29	-人	20～24	38人	25～29	82人	20～24	38人	25～29	82人
30～34	-人	35～39	-人	30～34	146人	35～39	181人	30～34	146人	35～39	181人
40～44	-人	45～49	-人	40～44	142人	45～49	79人	40～44	142人	45～49	79人
50～54	-人	55～59	-人	50～54	40人	55～59	12人	50～54	40人	55～59	12人
60～64	-人	65～69	-人	60～64	9人	65～69	21人	60～64	9人	65～69	21人
70～74	-人			70～74	13人			70～74	13人		

基本情報から見える特徴

加入者は30歳代が最も多く、その多くを男性被保険者が占める。被保険者の加入・脱退が頻繁にある（平均在籍年数は3年）

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

- 特定保健指導の対象者数が少なく、実施者数も少ない。
- 特定保健指導は引き続き周知案内を徹底し、業種の特性に合った実施方法を取り入れていくと共に、若年者向けの事業を検討する。

### 事業の一覧

健保組合の取組	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防	一般健診
疾病予防	成人病予防健診
疾病予防	婦人検診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	健康診断事後措置の健康指導
疾病予防	2次健診の受診料全額補助（除く人間ドックによる対象発見）
疾病予防	健康管理室での健康相談・保健指導
疾病予防	メンタルヘルス
疾病予防	健康診断受診時の健康に対する意識づけと生活改善指導
疾病予防	家庭用常備薬購入補助金制度
疾病予防	インフルエンザ予防接種の補助金支給
体育奨励	スポーツクラブ補助
その他	契約保養所
その他	旅行宿泊補助
その他	えらべる倶楽部
事業主の取組	
1	定期健康診断、特殊業務健診
2	雇入時の健診
3	業務時間の抑制
4	健康面談

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	1	特定健診(被保険者)	【目的】健康状態の把握 【概要】事業主健診と合わせて実施	被保険者	全て	男女	40～74	全員	7,295	受診者数 1,177人 受診率 92.3%	-	-	4
	1	特定健診(被扶養者)	【目的】健康状態の把握 【概要】特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診(選択制)	被扶養者	全て	男女	40～74	全員	0	受診者数 188人 受診率 64.4%	-	-	3
特定保健指導事業	3	特定保健指導	【目的】メタボ該当者の減少 【概要】医師や保健師・管理栄養士の指導のもと生活習慣改善に関する個別目標を設定した上で指導実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	332	被保険者 22人 被扶養者 1人	-	保健指導を受ける時間の確保、モチベーションの醸成が必要	3
保健指導宣伝	4	機関紙発行	【目的】健診受診勧奨・ジェネリック薬品・使用勧奨・予算・決算等告知 【概要】機関紙(健保ニュース)を年2回発行	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	1,582	年3回発行(医療費適正化(柔整師のかり方)増刊号も発行) 決算概要表の保健指導宣伝費の中には「保養所の案内」「健康保険組合ガイド」「契約保養所制度の変更告知冊子」の作成料とホームページの修正料が含まれているため事業報告書の金額と一致しない	-	読んでもらう工夫(特に被扶養者)	5
	7	医療費通知	【目的】健康意識の醸成・医療費節減意識の啓発 【概要】1年に4回、医療費通知を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	1,268	年4回発行	-	-	5
疾病予防	1	一般健診	【目的】病気の早期発見 【概要】35歳未満を対象とした労働安全衛生法に基づく検査項目の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～34	全員	16,809	受診者数 2,062人 ※健診勧奨のパンフレット代等あり事業報告書の金額と一致しない	-	-	4
	1	成人病予防健診	【目的】病気の早期発見 【概要】35歳以上を対象とした労働安全衛生法に基づく検査項目の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	35～39	全員	34,410	受診者数 2,153人	-	-	4
	1	婦人検診	【目的】病気の早期発見 【概要】子宮頸がん検査・乳がん検査を事業主健診と合わせて実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	18～39	全員	9,466	受診者数 609人	-	年齢により受診率にばらつきがある	4
	1	人間ドック	【目的】病気の早期発見 【概要】40歳以上の希望者へ実施(最大5万円まで費用補助)	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	5,365	受診者数 114人	-	レシピト分析結果により必要に応じて健診種類を検討する	4
	3	健康診断事後措置の健康指導	【目的】早期治療誘導による重症化予防 【概要】健診結果を踏まえて、健保顧問医師の指示のもと看護師が受診勧奨等実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	119	受診者数 701人	-	-	5
	1	2次健診の受診料全額補助(除く人間ドックによる対象発見)	【目的】病気の早期発見 【概要】精密検査・再検査の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	3,447	受診者数 351人	-	-	4
3	健康管理室での健康相談・保健指導	【目的】病気の早期発見・健康指導・インフル予防 【概要】医師・看護師による診断・指導実施・インフル予防接種実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	3,000	月2回(本社にて)実施	-	面談での指導による(本人の)納得度に効果がある	5	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
	5	メンタルヘルス	【目的】精神疾患防止と傷病手当軽減 【概要】保健同人社「心の相談」に委託（電話・メール・面談）	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	1,080	年間利用者数81名  データヘルス計画での分析に基づき、効果があると思われる時期に2回チラシを配布。 被扶養者の健診案内にも「こころの相談」チラシを同封配布した。	チラシ・ホームページ等による被保険者・被扶養者への制度の告知		4	
	4	健康診断受診時の健康に対する意識づけと生活改善指導	【目的】健康に対する意識づけ・生活習慣病予防対策 【概要】健診受診者の多い一部地区で健診時に健診に対する意識づけと生活習慣改善を啓発	被保険者		一部の事業所	男女	18 ～ 74	全員	885	273名実施	健診受診の入り口段階での健康指導のため、スムーズに実施できている。		4
	7	家庭用常備薬購入補助金制度	【目的】健康管理対策の一助 【概要】家庭用常備薬購入斡旋し購入金額の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	1,679	既存加入者に常備薬斡旋パンフを配布、一部金額（最高1,500円まで）を補助			4	
	7	インフルエンザ予防接種の補助金支給	【目的】健康管理対策の補助 【概要】インフルエンザ予防接種の代金の一部を補助し、医療費の削減を図る	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	485	利用者数485名（補助金額1人あたり、1,000円） 利用案内を事前に配布、ホームページも利用し周知を図った。		告知（周知）時期も含め、実施開始時期の1か月程度前寄せを次年度以降検討する。	3	
体育奨励	7	スポーツクラブ補助	【目的】健康・体力・運動習慣づくり 【概要】スポーツクラブ利用補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	3,472	利用者数 1,590人			4	
その他	7	契約保養所	【目的】リフレッシュ 【概要】被保険者・被扶養者の保養	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	5,034	利用者数 211人（28年4月～6月）	補助金の充実度 家族等との休暇時のメンタルリフレッシュ効果	1泊あたりの補助金が、他健保比多いこと。	4	
	7	旅行宿泊補助	【目的】リフレッシュ 【概要】被保険者・被扶養者の保養	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	8,764	<東急ハーベストクラブ> 1,085人 <かんぼの宿・ハイツ&いこいの村> 27泊26名	宿泊施設等のメニューの充実度		4	
	7	えらべる倶楽部	【目的】健康増進、保養リフレッシュ 【概要】契約旅館、ホテル宿泊に対し1泊当たり2,000円を補助。利用可能スポーツクラブの拡大、とディズニーランド等利用メニューの拡大による新たなリフレッシュ方法提供での健康増進、メンタルケア。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	11,301	契約保養所宿泊利用、541名（28年7月～29年3月） スポーツクラブ利用309名、ディズニー・USJ201名、レジャー観光施設利用91名、相談・ライフプラン45名、イーラーニングスキルアップ30名ほか。	宿泊施設の多さと宿泊メニューの豊富さ。育児相談、介護相談等生活相談も含め利用メニューが多いこと。	宿泊補助金の金額の妥当性を見極め。	4	

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

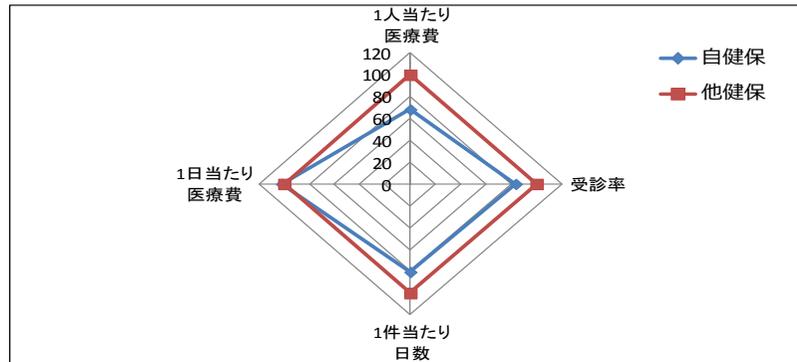
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
<b>事業主の取組</b>								
定期健康診断、特 殊業務健診	労働安全衛生法に基づく健診実施	被保険者	男女	18 ～ 74	4月～12月実施率87.7%	-	-	有
雇入時の健診	雇入の都度実施	被保険者	男女	18 ～ 74	実施率 98.1%	-	-	無
業務時間の抑制	水曜定時退社、派遣社員の長時間勤務者との面談と派遣先面談	被保険者	男女	18 ～ 74	本社、営業拠点は水曜定時退社実施、2か月連続 超時間勤務派遣社員の面談等実施	-	-	無
健康面談	長時間勤務者の問診票等提出	被保険者	男女	18 ～ 74	実施者数3人	-	-	無

## STEP 1 - 3 現状分析(レセプト①)

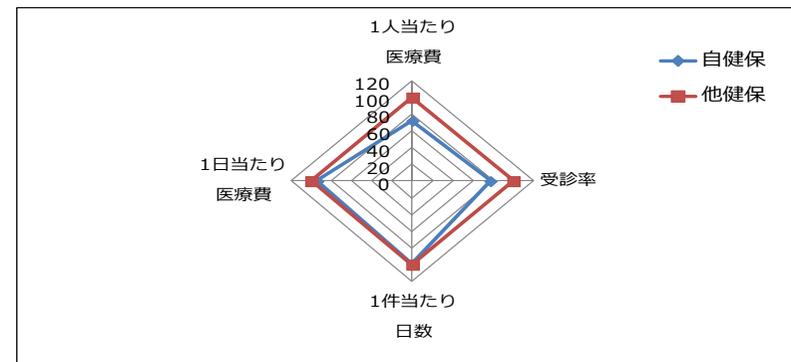
## 1. 診療区分別1人当たり医療費と医療費の3要素 (平成25年度)

医療費の3要素とは、「1日あたり医療費」「1件あたり日数」「受診率」のこと。この3つの値の積は「加入者1人あたり医療費」と等しく、これの高低の要因を理解する助けとなる。  
ここで受診率とは「加入者1人あたり件数」を指す

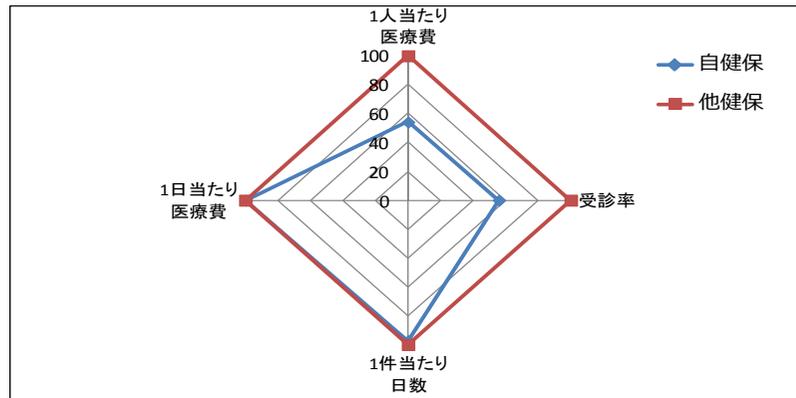
## 医科・入院



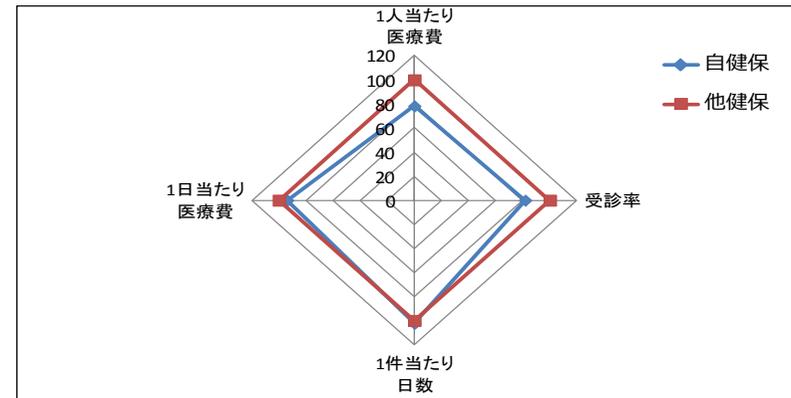
## 医科・入院外



## 歯科・入院外



## 調剤



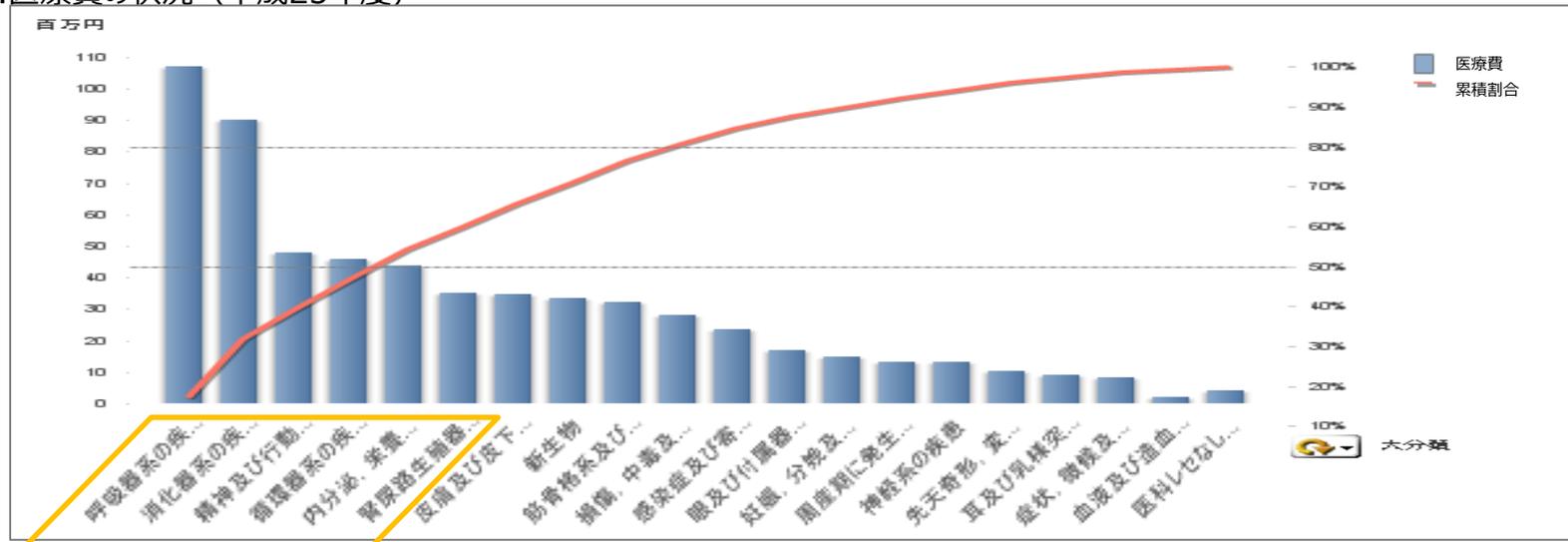
※比較指標は以下より抜粋

「平成24年度健保組合医療費（医科・歯科・調剤）の動向に関する調査分析報告」 健保連

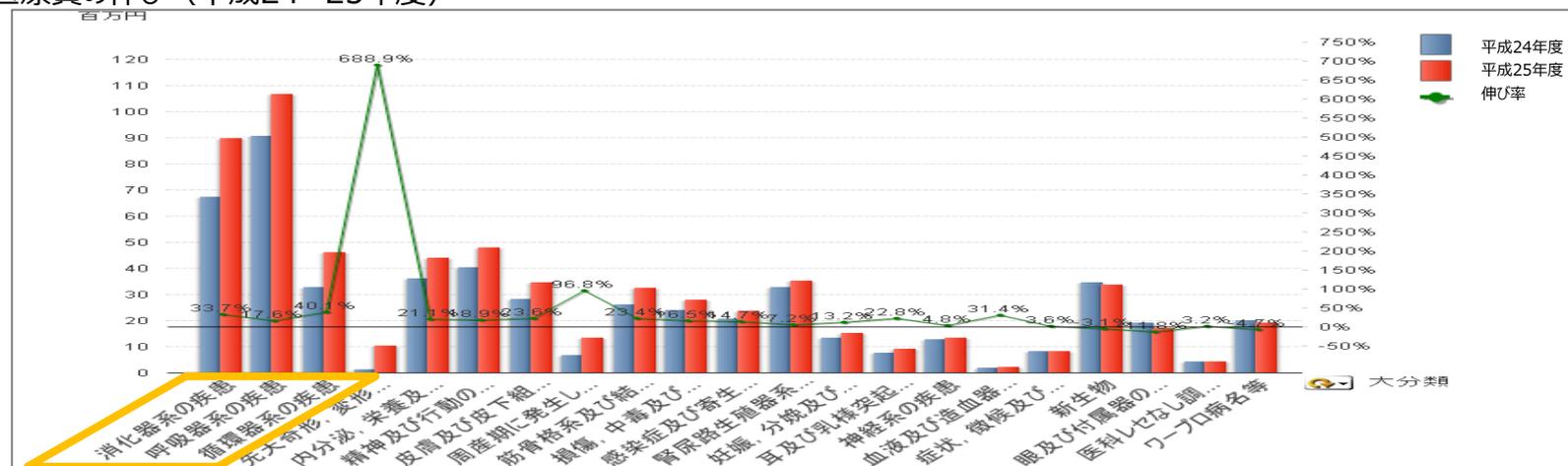
- 1人あたり医療費はいずれの診療区分でも、他健保と比べて低く、特に受診率が低く抑えられている

## STEP 1 - 4 現状分析(レポート②)

## 2. 医療費の状況 (平成25年度)



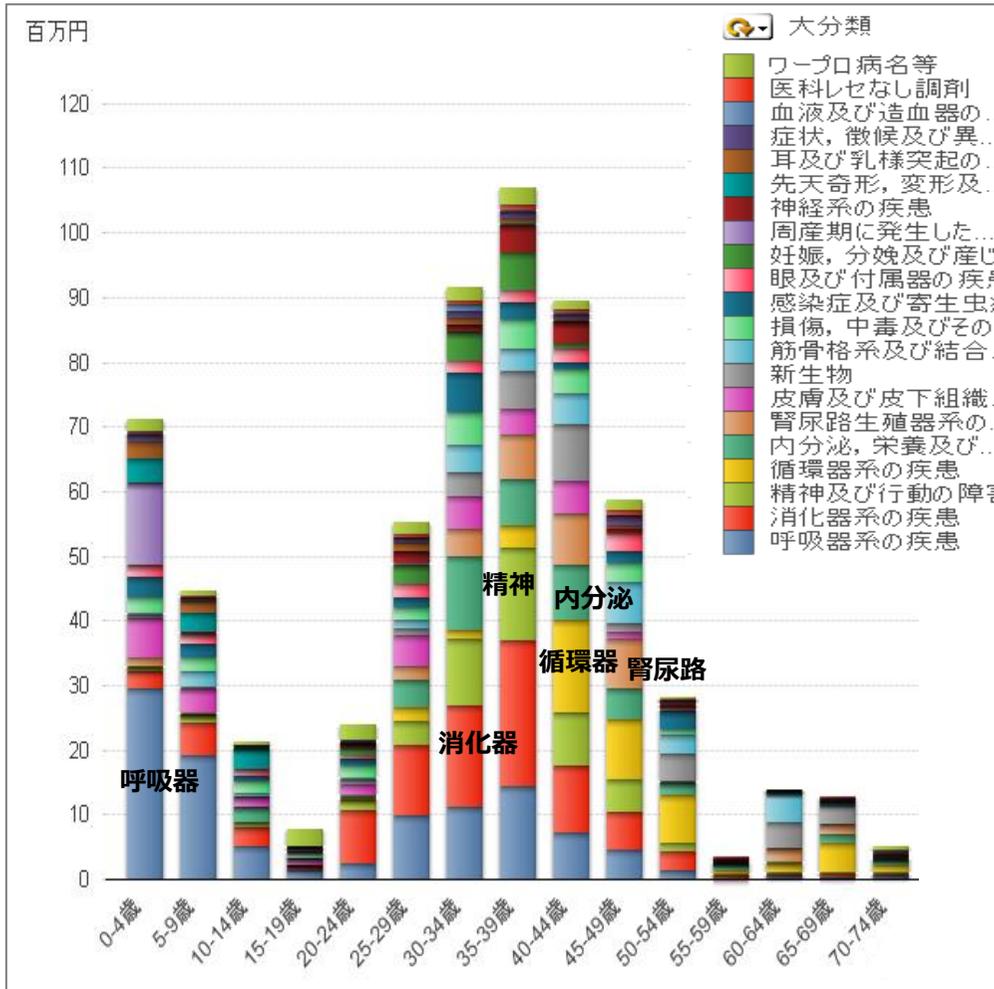
## 3. 医療費の伸び (平成24-25年度)



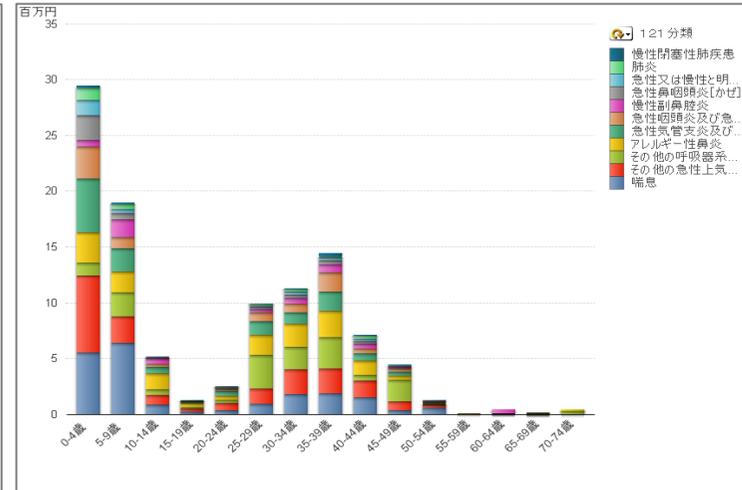
- 上位4疾病(呼吸器、消化器、精神、循環器)が医療費の約半分を占め、5位(内分泌)、6位(腎臓泌尿器)に生活習慣病疾患が続く
- 前年と比べて医療費が伸びている疾病は「消化器」「呼吸器」「循環器」である

# STEP 1 - 5 現状分析(レポート③)

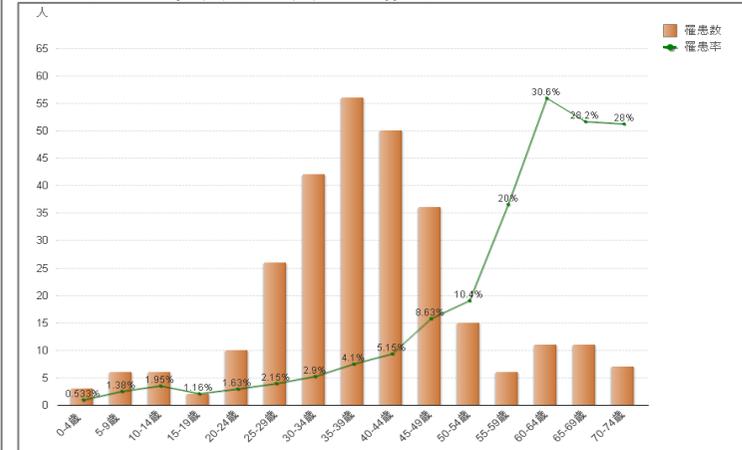
## 4.年齢別医療費と疾病割合



## 5.呼吸器系疾患の年齢別医療費



## 6.循環器系疾患の疾病別罹患数

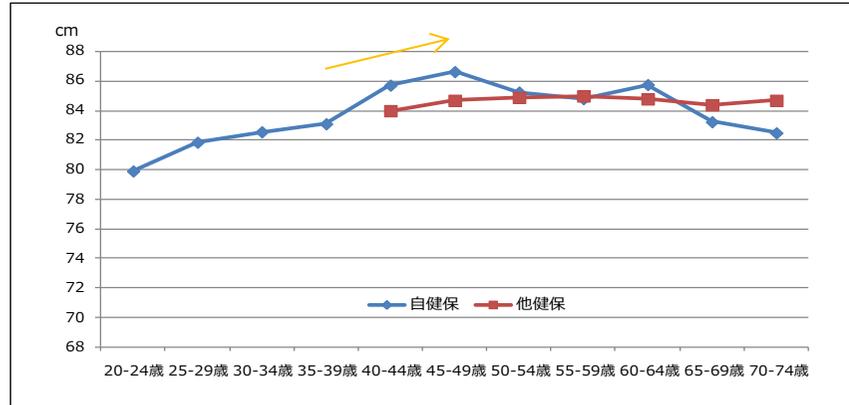


- 「呼吸器」は喘息が大きい割合を占めており、特に10歳未満の世代で多い。罹患数は10歳未満と30歳代で多い。
- 「循環器」「内分泌」「腎尿路」を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。
- 医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している

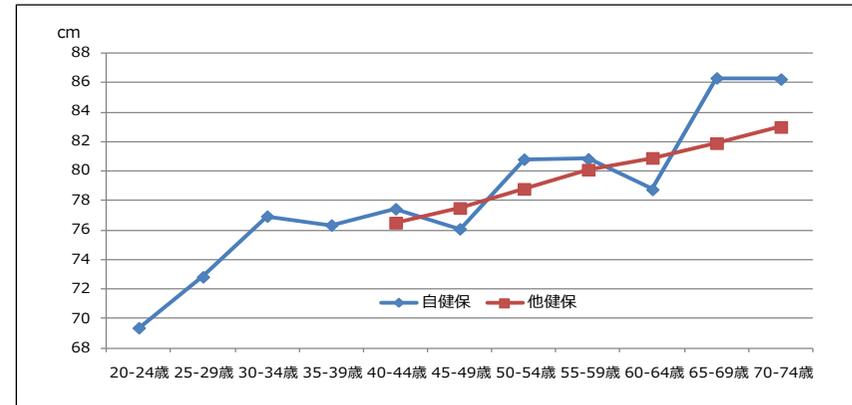
## STEP 1 - 6 現状分析(健診①)

## 7.年齢別平均検査値

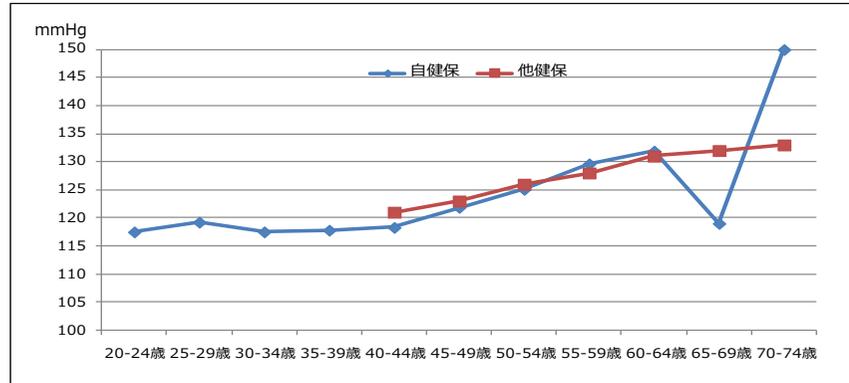
## 腹囲 (男性)



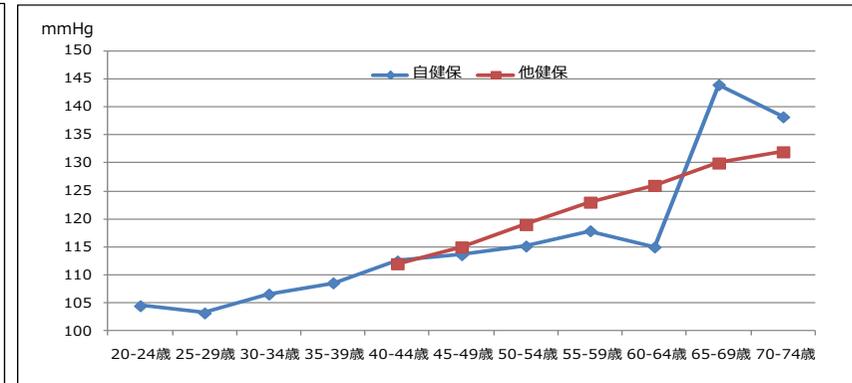
## 腹囲 (女性)



## 拡張期血圧 (男性)



## 拡張期血圧 (女性)



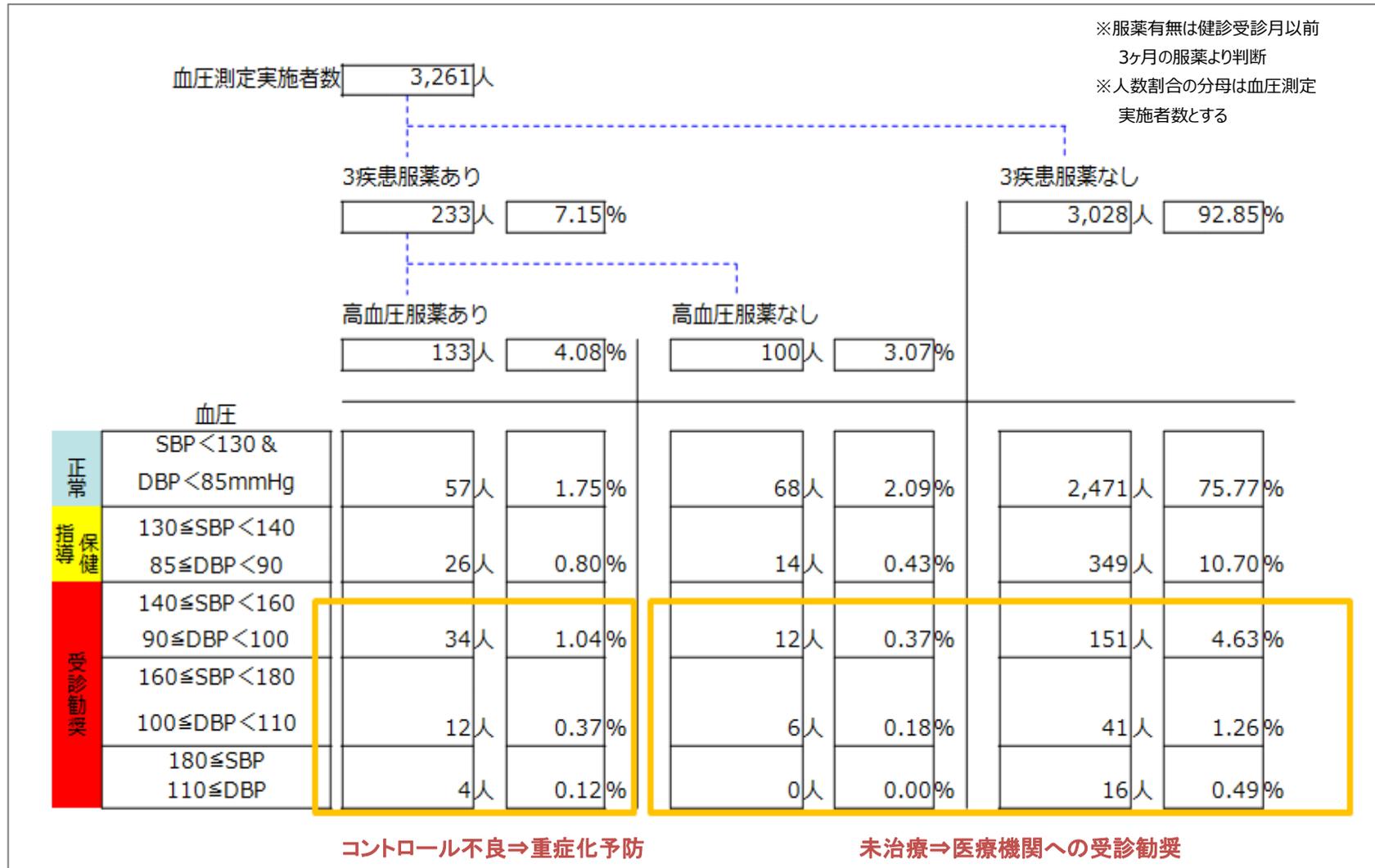
※比較指標は以下より抜粋

「平成22年度特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」厚生労働省

- 年代別の健診検査値の平均では、腹囲・拡張期血圧・血糖・脂質について30歳代から悪化傾向にある。
- 血圧は50歳代後半から、血糖は40歳以上から、脂質は30歳代後半から、それぞれ保健指導判定値を超過している。

## STEP 1 - 7 現状分析(健診②)

## 7. 血圧リスクフローチャート



- 健診受診者のうち、合併症リスクの高い（Ⅲ度高血圧相当）服薬コントロール不良者及び未受診者は1%弱である。

## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1人あたり医療費はいずれの診療区分でも、他健保と比べて低く、特に受診率が低く抑えられている。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>■医療費の傷病に着目し、課題疾病の抽出と対策を打つ。</li> </ul>	
2	イ, ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり 1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路 生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>■医療費の上位傷病のうち（呼吸器系疾患）、精神疾患、生活習慣病への対策を中心として保健事業の計画を立案する。</li> </ul>	✓
3	イ, ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■呼吸器系疾患は、喘息が大きい割合を占めており、特に10歳未満の世代で多い。罹患数は10歳未満と30歳代が多い。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>■疾病の発症やセルフメディケーション（および重症化予防（早期発見を含む））を目的とし、既存事業の家庭用常備薬の案内を継続すると共に実施時期を検討する。</li> </ul>	
4	イ, ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。</li> <li>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している。</li> <li>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生活習慣病は、生活習慣の改善等にて予防が可能である。現在、年齢構成では30歳代が最も多く、平均年齢は上昇すると思われるため、最重要課題として対策を検討する。</li> </ul>	✓

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■加入者を年齢別に見ると30歳代が最も多く、その多くを男性被保険者が占める。</li> <li>■前期高齢者は57人で前期高齢者加入率は0.86%と低い。</li> <li>■被保険者の加入・脱退が頻繁にある（平均在籍年数は3年）</li> <li>■被保険者の職種構成は、派遣技術者と本部スタッフである。</li> <li>■被保険者の多くは全国各地の派遣先に勤務している。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>■若年者層からの生活習慣改善対策が望ましい。</li> <li>■勤務状況に応じた保健事業を検討する。</li> <li>■業種の特性上、短期勤務者と長期勤務者それぞれの対策を検討する。</li> </ul>

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特定保健指導の対象者数が少なく、実施者数も少ない。</li> <li>■全国各地に点在する加入者が受診できるよう健診機関を手当てしている。</li> <li>■2次健診や特定保健指導を受けるために、休暇取得が必要である。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特定保健指導は引き続き周知案内の徹底や業種の特性に合った実施方法の検討と共に、若年者向けの事業を検討する。</li> </ul>

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

当健保は健康課題を①生活習慣病対策、②がん対策、③健康意識の向上とし、データヘルス計画に取り組んでいる。①は特定健診・特定保健指導のさらなる実施率向上に加えて、コラボヘルスによる健診後措置（若年層からの対策）、②は人間ドック・婦人検診診によるがんの早期発見・早期治療、③は体育奨励等の施策についてをPDCAサイクルを確実に他の事業に展開することにより、加入者の健康増進を進めていく。

### 事業全体の目標

以下の目標について、特に若年層からの改善を重点実施していく。

- ①生活習慣病対策の目標：健康意識の向上、健康リスクの減少、高リスク者の減少
- ②がん対策：胃・大腸・肺・乳・子宮頸がんの早期発見・早期治療
- ③健康意識の向上：加入者のセルフケア推進・行動変容

## 事業の一覧

### 職場環境の整備

- 1 健康管理室との連携（コラボヘルス）

### 加入者への意識づけ

- 1 機関紙発行
- 2 医療費通知
- 3 健康診断受診時の健康に対する意識づけと生活改善指導

### 個別の事業

- 1 特定健診（被保険者）
- 2 特定健診（被扶養者）
- 3 特定保健指導
- 4 一般健診
- 5 成人病予防健診
- 6 婦人検診
- 7 人間ドック
- 8 健康診断事後措置の健康指導
- 9 2次健診の受診料全額補助（除く人間ドックによる対象発見）
- 10 健康管理室での健康相談・保健指導
- 11 メンタルヘルス
- 12 家庭用常備薬購入補助金制度
- 13 インフルエンザ予防接種の補助金支給
- 14 スポーツクラブ補助
- 15 契約保養所
- 16 旅行宿泊補助
- 17 えらべる倶楽部

## 【保健事業の基盤】職場環境の整備

1 事業名	健康管理室との連携（コラボヘルス）		
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
予算科目	(予算措置なし)	事業の目的 および概要	【目的】若年層を含めた全年齢の被保険者における健康増進 【概要】若年層を含めた健康増進事業を事業主と連携実施。 ※①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導
事業分類	1-ウ		
新規・既存区分	既存	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 全員
実施主体	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用		
実施計画 (平成28年度)	以下の保健事業を健康管理室と連携して継続実施 ※①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導		
事業目標			
アウトプット指標	連携事業数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：4件）①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導 それぞれを1件とカウント		
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため （今後、事業主と連携したアウトカム測定を目指す） （アウトカムは設定されていません）		

## 【保健事業の基盤】加入者への意識づけ

1	事業名	機関紙発行		
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
予算科目	保健指導宣伝	事業の目的 および概要	【目的】健診受診勧奨・ジェネリック薬品・使用勧奨・予算・決算等告知 【概要】機関紙（健保ニュース）を年2回発行	
事業分類	5-ウ			
新規・既存区分	既存	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 全員	
実施主体	1. 健保組合			
実施計画 (平成28年度)	・継続			

事業目標				
アウトプット指標	発行回数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：2回） -			
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)			

2	事業名	医療費通知		
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
予算科目	保健指導宣伝	事業の目的 および概要	【目的】健康意識の醸成・医療費 節減意識の啓発 【概要】1年に4回、医療費通知を送付	
事業分類	8-ウ			
新規・既存区分	既存	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 全員	
実施主体	1. 健保組合			
実施計画 (平成28年度)	・継続			

事業目標				
アウトプット指標	送付回数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：4回） -			
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)			

3	事業名	健康診断受診時の健康に対する意識づけと生活改善指導		
---	-----	---------------------------	--	--

健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。</p> <p>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している。</p> <p>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	<p>【目的】健康に対する意識づけ・生活習慣病予防対策</p> <p>【概要】健診受診者の多い一部地区で健診時に健診に対する意識づけと生活習慣改善を啓発</p>
事業分類	2-イ		
新規・既存区分	新規	対象者	<b>資格</b> 被保険者 <b>対象事業所</b> 一部の事業所 <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～74 <b>対象者分類</b> 基準該当者
実施主体	1. 健保組合		
実施計画 (平成28年度)	・継続		
<b>事業目標</b>			
<b>アウトプット指標</b>	対象者への実施率（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：100%）対象者全員への意識づけを実施		
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)		

## 【個別の事業】

1	事業名			特定健診（被保険者）								
健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。</p> <p>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している。</p> <p>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>											
予算科目	特定健康診査事業	事業の目的および概要	<p>【目的】健康状態の把握</p> <p>【概要】事業主健診と合わせて実施</p>									
事業分類	3-ア											
新規・既存区分	既存(法定)	対象者	資格	被保険者	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	40～74	対象者分類	全員
実施主体	1. 健保組合											
実施計画 (平成28年度)	・継続											
事業目標												
アウトプット指標	受診率（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：95％） -											
アウトカム指標	<p>積極的支援対象率（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：15％）・積極的支援対象率は法定報告の項番33で測定（数字は未達が目標）</p> <p>動機付支援対象率（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：15％）・動機付け支援対象率は法定報告の項番40で測定（数字は未達が目標）</p>											

2	事業名			特定健診（被扶養者）								
健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。</p> <p>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している。</p> <p>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>											
予算科目	特定健康診査事業	事業の目的および概要	<p>【目的】健康状態の把握</p> <p>【概要】特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制）</p>									
事業分類	3-ア											
新規・既存区分	既存(法定)	対象者	資格	被扶養者	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	40～74	対象者分類	全員
実施主体	1. 健保組合											
実施計画 (平成28年度)	・継続											
事業目標												

<b>アウトプット指標</b>	受診率（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：55%）・特定健診受診率（被扶養者） H28：55.0% H29：56.0% (H25：54.3%)
<b>アウトカム指標</b>	積極的支援対象率（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：10%）・積極的支援対象率は法定報告の項番33で測定（数字は未達が目標） 動機付支援対象率（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：10%）・動機付け支援対象率は法定報告の項番40で測定（数字は未達が目標）

3事業名		特定保健指導	
健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。</p> <p>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している。</p> <p>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>		
予算科目	特定保健指導事業	事業の目的 および概要	【目的】メタボ該当者の減少 【概要】医師や保健師・管理栄養士の指導のもと生活習慣改善に関する個別目標を設定した上で指導実施
事業分類	4-ア		
新規・既存区分	既存(法定)	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者
実施主体	1. 健保組合		
実施計画 (平成28年度)	・継続		
事業目標			
<b>アウトプット指標</b>	実施率（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：10%）・特定保健指導（被保険者） H28：8.0% H29：10.0% (H25積極的支援：7.5%) (H25動機づけ支援：8.8%)		
<b>アウトカム指標</b>	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：30%）・特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率は法定報告の項番31で測定		

4事業名		一般健診	
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり</p> <p>1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路</p> <p>生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】病気の早期発見 【概要】35歳未満を対象とした労働安全衛生法に基づく検査項目の実施
事業分類	3-ア		
新規・既存区分	既存	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～34 対象者分類 全員

実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業
実施計画 (平成28年度)	・継続
事業目標	
アウトプット指標	受診者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：2,000人） -
アウトカム指標	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)

5事業名	成人病予防健診		
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり 1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路 生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	<p>【目的】 病気の早期発見 【概要】 35歳以上を対象とした労働安全衛生法に基づく検査項目の実施</p>
事業分類	3-ア		
新規・既存区分	既存	対象者	<p><b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 35～39 <b>対象者分類</b> 全員</p>
実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業		
実施計画 (平成28年度)	・継続		
事業目標			
アウトプット指標	受診者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：2,000人） -		
アウトカム指標	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)		

6事業名	婦人検診		
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり 1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路 生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	<p>【目的】 病気の早期発見 【概要】 子宮頸がん検査・乳がん検査を事業主健診と合わせて実施</p>
事業分類	3-ア, 3-イ		
新規・既存区分	既存	対象者	<p><b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 女性 <b>年齢</b> 18～39 <b>対象者分類</b> 全員</p>

実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業
実施計画 (平成28年度)	・継続
事業目標	
<b>アウトプット指標</b>	受診者数（【実績値】 - 【目標値】 平成28年度：-人）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)

7	事業名	<b>人間ドック</b>	
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり 1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路 生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	<p>【目的】 病気の早期発見 【概要】 40歳以上の希望者へ実施（最大5万円まで費用補助）</p>
事業分類	3-ア, 3-イ	対象者	<p><b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 40～74 <b>対象者分類</b> 全員</p>
新規・既存区分	既存		
実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業		
実施計画 (平成28年度)	・継続		
事業目標			
<b>アウトプット指標</b>	受診者数（【実績値】 - 【目標値】 平成28年度：-人）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定		
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)		

8	事業名	<b>健康診断事後措置の健康指導</b>	
健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病 関連傷病は、医療費の多くを占めている。 ■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で 発症している。 ■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	<p>【目的】 早期治療誘導による重症化予防 【概要】 健診結果を踏まえて、健保顧問医師の指示のもと看護師が受診勧奨等実施</p>
事業分類	4-ア, 4-イ		

新規・既存区分	既存	対象者	資格	被保険者・被扶養者	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	全員
実施主体	1. 健保組合											
実施計画 (平成28年度)	・継続											
事業目標												
アウトプット指標	実施者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：500人）・医療機関への新規および継続受診の促進・受診率 H28：585名 H29：595名 （H25実施者数：572名）											
アウトカム指標	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため （アウトカムは設定されていません）											

9	事業名	<b>2次健診の受診料全額補助（除く人間ドックによる対象発見）</b>										
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり</p> <p>1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路</p> <p>生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>											
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】病気の早期発見 【概要】精密検査・再検査の実施									
事業分類	3-ア, 3-イ											
新規・既存区分	既存	対象者	資格	被保険者・被扶養者	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	全員
実施主体	1. 健保組合											
実施計画 (平成28年度)	・継続											
事業目標												
アウトプット指標	実施者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：300人）・医療機関への誘導と医師の指導による生活習慣の改善・受診者数 H28：300名 H29：310名 （H25実施者数：293名）											
アウトカム指標	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため （アウトカムは設定されていません）											

10	事業名	<b>健康管理室での健康相談・保健指導</b>										
----	-----	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。</p> <p>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している。</p> <p>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的および概要	<p>【目的】病気の早期発見・健康指導・インフル予防</p> <p>【概要】医師・看護師による診断・指導実施・インフル予防接種実施</p>
事業分類	4-ア, 4-イ		
新規・既存区分	既存	対象者	<p><b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～74 <b>対象者分類</b> 全員</p>
実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業		
実施計画(平成28年度)	継続		

事業目標	
<b>アウトプット指標</b>	<p>指導実施者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：-人）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定</p> <p>※事業主において測定</p> <p>予防接種実施者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：-人）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定</p> <p>※事業主において測定</p>
<b>アウトカム指標</b>	<p>現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため（アウトカムは設定されていません）</p>

11	事業名	<b>メンタルヘルス</b>	
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり</p> <p>1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器</p> <p>5.内分泌・栄養 6.腎尿路</p> <p>生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的および概要	<p>【目的】精神疾患防止と傷病手当軽減</p> <p>【概要】保健同人社「心の相談」に委託（電話・メール・面談）</p>
事業分類	3-エ, 6		
新規・既存区分	既存	対象者	<p><b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～74 <b>対象者分類</b> 全員</p>
実施主体	1. 健保組合		
実施計画(平成28年度)	継続		
事業目標			

**アウトプット指標** 相談件数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：100件）・相談件数  
 H28：70件  
 H29：90件  
 （H25：55件）

**アウトカム指標** 本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため  
 （アウトカムは設定されていません）

12	事業名	<b>家庭用常備薬購入補助金制度</b>		
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】健康管理対策の一助 【概要】家庭用常備薬購入斡旋し 購入金額の一部を補助	
事業分類	3-才			
新規・既存区分	既存	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 全員	
実施主体	1. 健保組合			
実施計画 (平成28年度)	継続			
事業目標				
<b>アウトプット指標</b>	補助件数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：-件）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定			
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため （アウトカムは設定されていません）			

13	事業名	<b>インフルエンザ予防接種の補助金支給</b>		
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり</p> <p>1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器</p> <p>5.内分泌・栄養 6.腎尿路</p> <p>生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>			
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】健康管理対策の補助 【概要】インフルエンザ予防接種の代金の一部を補助し、医療費の削減を図る	
事業分類	3-才			
新規・既存区分	既存	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 全員	
実施主体	1. 健保組合			
実施計画 (平成28年度)	継続			
事業目標				

**アウトプット指標** 補助者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：-人）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定

**アウトカム指標** 本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため  
(アウトカムは設定されていません)

14	事業名	<b>スポーツクラブ補助</b>		
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
予算科目	体育奨励	事業の目的 および概要	【目的】健康・体力・運動習慣づくり 【概要】スポーツクラブ利用補助	
事業分類	8-イ			
新規・既存区分	既存	対象者	<b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～74 <b>対象者分類</b> 全員	
実施主体	1. 健保組合			
実施計画 (平成28年度)	・継続			
事業目標				
<b>アウトプット指標</b>	利用者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：1,500人） -			
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)			

15	事業名	<b>契約保養所</b>		
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
予算科目	その他	事業の目的 および概要	【目的】リフレッシュ 【概要】被保険者・被扶養者の保養	
事業分類	8-イ			
新規・既存区分	既存	対象者	<b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～74 <b>対象者分類</b> 全員	
実施主体	1. 健保組合			
実施計画 (平成28年度)	・継続			
事業目標				
<b>アウトプット指標</b>	利用者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：2,000人）・利用者数 H29：2,000名 (H25実施者数：1,833名)			
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)			

16	事業名	<b>旅行宿泊補助</b>		
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
予算科目	その他	事業の目的 および概要	【目的】リフレッシュ 【概要】被保険者・被扶養者の保養	
事業分類	8-イ			
新規・既存区分	既存	対象者	<b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～74 <b>対象者分類</b> 全員	
実施主体	1. 健保組合			
実施計画 (平成28年度)	・継続			
<b>事業目標</b>				
<b>アウトプット指標</b>	利用者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：600人）・利用者数（のべ数） H29：700名 (H25：641名)			
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)			

17	事業名	<b>えらべる倶楽部</b>		
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
予算科目	その他	事業の目的 および概要	【目的】健康増進、保養リフレッシュ 【概要】契約旅館、ホテル宿泊に対し1泊当たり2,000円を補助。利用可能スポーツクラブの拡大、とディズニーランド等利用メニューの拡大による新たなリフレッシュ方法提供での健康増進、メンタルケア。	
事業分類	8-イ			
新規・既存区分	既存	対象者	<b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～74 <b>対象者分類</b> 全員	
実施主体	1. 健保組合			
実施計画 (平成28年度)	・継続			
<b>事業目標</b>				
<b>アウトプット指標</b>	利用者数（【実績値】 - 【目標値】平成28年度：600人）・利用者数（のべ数） H29：700名 (H25：641名)			
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)			

## STEP 4 - 1 事業報告

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

- 1 健康管理室との連携（コラボヘルス）

#### 加入者への意識づけ

- 1 機関紙発行
- 2 医療費通知
- 3 健康診断受診時の健康に対する意識づけと生活改善指導

#### 個別の事業

- 1 特定健診（被保険者）
- 2 特定健診（被扶養者）
- 3 特定保健指導
- 4 一般健診
- 5 成人病予防健診
- 6 婦人検診
- 7 人間ドック
- 8 健康診断事後措置の健康指導
- 9 2次健診の受診料全額補助（除く人間ドックによる対象発見）
- 10 健康管理室での健康相談・保健指導
- 11 メンタルヘルス
- 12 家庭用常備薬購入補助金制度
- 13 インフルエンザ予防接種の補助金支給
- 14 スポーツクラブ補助
- 15 契約保養所
- 16 旅行宿泊補助
- 17 えらべる倶楽部

## 【保健事業の基盤】職場環境の整備

1 事業名	健康管理室との連携（コラボヘルス）		
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
予算科目	(予算措置なし)	事業の目的 および概要	【目的】若年層を含めた全年齢の被保険者における健康増進 【概要】若年層を含めた健康増進事業を事業主と連携実施。 ※①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導
事業分類	1-ウ		
新規・既存区分	既存	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 全員
実施主体	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用		
実施計画 (平成28年度)	以下の保健事業を健康管理室と連携して継続実施 ※①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導		
振り返り	実施状況・時期 ①③は健保主体で継続実施 ②④は事業主主体で継続実施		
	成功・推進要因 事業主との定期的な情報共有により課題を共有し、スムーズな連携が来ている。		
	課題及び阻害要因 今後、アウトプット・アウトカム指標の共有が必要と考えている。		
予算額	- 千円	決算額	0 千円 評価 5 . 100%
事業目標			
アウトプット指標			
連携事業数（【現行値】 - 【計画値/実績値】平成28年度：4件/4件 【達成度】100%）①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導 それぞれを1件とカウント[-]			
アウトカム指標 本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため（今後、事業主と連携したアウトカム測定を目指す） (アウトカムは設定されていません)			

## 【保健事業の基盤】加入者への意識づけ

1	事業名	機関紙発行										
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）											
予算科目	保健指導宣伝	事業の目的 および概要	【目的】健診受診勧奨・ジェネリック薬品・使用勧奨・予算・決算等告知 【概要】機関紙（健保ニュース）を年2回発行									
事業分類	5-ウ	対象者	資格	被保険者・被扶養者	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	全員
新規・既存区分	既存		実施主体	1. 健保組合								
実施計画 (平成28年度)	・継続											
振り返り	<b>実施状況・時期</b> 年3回発行（医療費適正化（柔整師のかかり方）増刊号も発行） 決算概要表の保健指導宣伝費の中には、「保養所の案内」「健康保険組合ガイド」「契約保養所制度の変更告知冊子」の作成料とホームページの修正料が含まれているため事業報告書の金額と一致しない											
	<b>成功・推進要因</b> 定期発行しており、加入者に周知されている。また、タイムリーな健康増進記事等のコンテンツを工夫している。											
	<b>課題及び阻害要因</b> 紙面や配布方法など、読んでもらう工夫が必要と考えている（特に被扶養者）。											
予算額	-千円	決算額	1,582千円			評価	5. 100%					
事業目標												
<b>アウトプット指標</b> 発行回数（【現行値】-【計画値/実績値】平成28年度：2回/3回 【達成度】100%）-[-]												
<b>アウトカム指標</b> 本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)												

2	事業名	医療費通知										
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）											
予算科目	保健指導宣伝	事業の目的 および概要	【目的】健康意識の醸成・医療費 節減意識の啓発 【概要】1年に4回、医療費通知を送付									
事業分類	8-ウ	対象者	資格	被保険者・被扶養者	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	全員
新規・既存区分	既存		実施主体	1. 健保組合								
実施計画 (平成28年度)	・継続											
振り返り	<b>実施状況・時期</b> 年4回発行											
	<b>成功・推進要因</b> 定期送付しており、加入者に向けた医療費意識向上に寄与している。											
	<b>課題及び阻害要因</b> 特段の課題は認識していない。											
予算額	-千円	決算額	1,268千円			評価	5. 100%					
事業目標												

**アウトプット指標** 送付回数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：4回/4回 【達成度】 4%） [-]

**アウトカム指標** 本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため  
(アウトカムは設定されていません)

3 事業名	<b>健康診断受診時の健康に対する意識づけと生活改善指導</b>		
健康課題との関連	■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病 関連傷病は、医療費の多くを占めている。 ■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で 発症している。 ■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。		
予算科目	疾病予防	事業の目的	【目的】 健康に対する意識づけ・生活習慣病予防対策
事業分類	2-イ	および概要	【概要】 健診受診者の多い一部地区で健診時に健診に対する意識づけと生活習慣改善を啓発
新規・既存区分	新規	対象者	<b>資格</b> 被保険者 <b>対象事業所</b> 一部の事業所 <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～74 <b>対象者分類</b> 基準該当者
実施主体	1. 健保組合		
実施計画 (平成28年度)	・継続		
振り返り	<b>実施状況・時期</b> 273名実施 <b>成功・推進要因</b> 健診受診の入り口段階での健康指導のため、スムーズに実施できている。 <b>課題及び阻害要因</b> 特定保健指導の実施率向上に寄与する方法を検討する。		
予算額	-千円	決算額	885千円
評価	5. 100%		
事業目標			
<b>アウトプット指標</b>	対象者への実施率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：100%/100% 【達成度】 100%） 対象者全員への意識づけを実施[-]		
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)		

## 【個別の事業】

1 事業名	特定健診（被保険者）		
健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。</p> <p>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している。</p> <p>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>		
予算科目	特定健康診査事業	事業の目的 および概要	【目的】健康状態の把握 【概要】事業主健診と合わせて実施
事業分類	3-ア	対象者	<b>資格</b> 被保険者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 40～74 <b>対象者分類</b> 全員
新規・既存区分	既存(法定)		
実施主体	1. 健保組合		
実施計画 (平成28年度)	・継続		
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 受診者数 1,177人 受診率 92.3%</p> <p><b>成功・推進要因</b> 事業主の定期健診と併せて実施しており、結果の受領などがスムーズに出来ている。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 特段の課題は認識していないが、毎年コンスタントに高い受診率を維持するための仕組みが必要と考えている。</p>		
予算額	-千円	決算額	7,295千円 <b>評価</b> 4. 80%以上
事業目標			
<b>アウトプット指標</b>	受診率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：95%/92.3% 【達成度】 97%） [-]		
<b>アウトカム指標</b>	<p>積極的支援対象率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：15%/-% 【達成度】 -%） ・積極的支援対象率は法定報告の項番33で測定（数字は未達が目標）【※アウトカム指標は平成29年度から設定予定】</p> <p>動機付け支援対象率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：15%/-% 【達成度】 -%） ・動機付け支援対象率は法定報告の項番40で測定（数字は未達が目標）【※アウトカム指標は平成29年度から設定予定】</p>		

2 事業名	特定健診（被扶養者）		
健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。</p> <p>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している。</p> <p>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>		
予算科目	特定健康診査事業	事業の目的 および概要	【目的】健康状態の把握 【概要】特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制）
事業分類	3-ア	対象者	<b>資格</b> 被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 40～74 <b>対象者分類</b> 全員
新規・既存区分	既存(法定)		
実施主体	1. 健保組合		

実施計画 (平成28年度)	・継続				
振り返り	<b>実施状況・時期</b>	受診者数 188人 受診率 64.4%			
	<b>成功・推進要因</b>	被扶養者にとり受けやすいコースを複数提供しており、また、若年層からの健診受診の習慣づけが進んでいることが受診率向上に寄与している。			
	<b>課題及び阻害要因</b>	今後も高い受診率を継続するため、広報誌等で定期的な啓発を実施していく。			
予算額	-千円	決算額	0千円	評価	5. 100%
事業目標					
<b>アウトプット指標</b>	受診率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：55%/64.4% 【達成度】 100%）・特定健診受診率（被扶養者） H28：55.0% H29：56.0% (H25：54.3%) [-]				
<b>アウトカム指標</b>	積極的支援対象率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：10%/-% 【達成度】 -%）・積極的支援対象率は法定報告の項番33で測定（数字は未達が目標）[*アウトカム指標は平成29年度から設定予定] 動機付支援対象率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：10%/-% 【達成度】 -%）・動機付け支援対象率は法定報告の項番40で測定（数字は未達が目標）[*アウトカム指標は平成29年度から設定予定]				

3事業名	<b>特定保健指導</b>				
健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病 関連傷病は、医療費の多くを占めている。</p> <p>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で 発症している。</p> <p>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>				
予算科目	特定保健指導事業	事業の目的 および概要	【目的】メタボ該当者の減少 【概要】医師や保健師・管理栄養士の指導のもと生活習慣改善に関する個別目標を設定した上で指導実施		
事業分類	4-ア	対象者	<b>資格</b>	被保険者・被扶養者	<b>対象事業所</b> 全て
新規・既存区分	既存(法定)		<b>性別</b>	男女	<b>年齢</b> 40～74
実施主体	1. 健保組合				
実施計画 (平成28年度)	・継続				
振り返り	<b>実施状況・時期</b>	被保険者 22人 被扶養者 1人			
	<b>成功・推進要因</b>	特定保健指導の終了者は比較的高い改善率であると考えている。			
	<b>課題及び阻害要因</b>	被保険者はコラボヘルス（保健指導を受ける時間の確保等）による事業所実施が望ましいが、業務上困難なケースが多い。また、対象者のモチベーションの醸成が必要。			
予算額	-千円	決算額	332千円	評価	3. 60%以上

<b>事業目標</b>	
<b>アウトプット指標</b>	実施率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：10%/7.2% 【達成度】 72%）・特定保健指導（被保険者） H28：8.0% H29：10.0% （H25積極的支援：7.5%） （H25動機づけ支援：8.8%） [-]
<b>アウトカム指標</b>	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：30%/36.4% 【達成度】 100%）・特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率は法定報告の項番31で測定[-]

4	<b>事業名</b>		<b>一般健診</b>	
健康課題との関連	■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり 1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路 生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。			
予算科目	疾病予防	事業の目的	【目的】 病気の早期発見	
事業分類	3-ア	および概要	【概要】 35歳未満を対象とした労働安全衛生法に基づく検査項目の実施	
新規・既存区分	既存	対象者	資格	被保険者・被扶養者
			対象事業所	全て
			性別	男女
			年齢	18～34
			対象者分類	全員
実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業			
実施計画 (平成28年度)	・継続			
振り返り	実施状況・時期	受診者数 2,062人 ※健診勧奨のパンフレット代等あり事業報告書の金額と一致しない		
	成功・推進要因	若年層からの意識付けを実施していることで、受診者数が増加している。		
	課題及び阻害要因	事後措置等も実施しており、特段の課題は認識していないが、より若いうちからの健康リスク減少につなげていく必要がある。		
予算額	-千円	決算額	16,809千円	評価
				5. 100%

<b>事業目標</b>	
<b>アウトプット指標</b>	受診者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：2,000人/2,062人 【達成度】 100%） [-]
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)

5	<b>事業名</b>		<b>成人病予防健診</b>	
健康課題との関連	■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり 1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路 生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。			

予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】 病気の早期発見 【概要】 35歳以上を対象とした労働安全衛生法に基づく検査項目の実施		
事業分類	3-ア				
新規・既存区分	既存	対象者	資格	被保険者・被扶養者	対象事業所 全て
実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業		性別	男女	年齢 35～39
実施計画 (平成28年度)	・継続		対象者分類	全員	
振り返り	実施状況・時期	受診者数 2,153人			
	成功・推進要因	若年層からの意識付けを実施していることで、受診者数が増加している。			
	課題及び阻害要因	事後措置等も実施しており、特段の課題は認識していないが、特定保健指導の対象者減少につなげていく必要がある。			
予算額	-千円	決算額	34,410千円	評価	5. 100%
事業目標					
アウトプット指標	受診者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：2,000人/2,153人 【達成度】 100%） -[-]				
アウトカム指標	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)				

6事業名	婦人検診				
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり</p> <p>1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器</p> <p>5.内分泌・栄養 6.腎尿路</p> <p>生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>				
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】 病気の早期発見 【概要】 子宮頸がん検査・乳がん検査を事業主健診と合わせて実施		
事業分類	3-ア,3-イ				
新規・既存区分	既存	対象者	資格	被保険者・被扶養者	対象事業所 全て
実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業		性別	女性	年齢 18～39
実施計画 (平成28年度)	・継続		対象者分類	全員	
振り返り	実施状況・時期	受診者数 609人			
	成功・推進要因	事業主健診と婦人科を合わせて実施している。			
	課題及び阻害要因	年齢により受診率にばらつきがある			
予算額	-千円	決算額	9,466千円	評価	4. 80%以上
事業目標					

<b>アウトプット指標</b>	受診者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：-人/-人 【達成度】 -%）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定[-]
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)

7事業名	人間ドック		
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり 1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路 生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】 病気の早期発見 【概要】 40歳以上の希望者へ実施（最大5万円まで費用補助）
事業分類	3-ア,3-イ	対象者	【資格】 被保険者・被扶養者 【対象事業所】 全て 【性別】 男女 【年齢】 40～74 【対象者分類】 全員
新規・既存区分	既存		
実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業		
実施計画 (平成28年度)	・継続		
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 受診者数 114人 <b>成功・推進要因</b> 継続実施している。 <b>課題及び阻害要因</b> 特段の課題は認識していないが、今後の受診者数増に伴う費用増を想定した対策（例えば、年齢層を考慮したメリハリのある周知など）も必要と考えている。</p>		
予算額	-千円	決算額	5,365千円
		評価	4. 80%以上

事業目標			
<b>アウトプット指標</b>	受診者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：-人/-人 【達成度】 -%）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定[-]		
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)		

8事業名	健康診断事後措置の健康指導		
健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病 関連傷病は、医療費の多くを占めている。 ■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で 発症している。 ■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】 早期治療誘導による重症化予防 【概要】 健診結果を踏まえて、健保顧問医師の指示のもと看護師が受診勧奨等実施
事業分類	4-ア,4-イ	対象者	【資格】 被保険者・被扶養者 【対象事業所】 全て 【性別】 男女 【年齢】 18～74 【対象者分類】 全員
新規・既存区分	既存		
実施主体	1. 健保組合		

実施計画 (平成28年度)	・継続				
振り返り	<b>実施状況・時期</b>	受診者数 701人			
	<b>成功・推進要因</b>	健保顧問医師による動機付け、健康指導、受診勧奨。			
	<b>課題及び阻害要因</b>	特段の課題は認識していないが、今後、特定保健指導の実施率向上の仕組みが必要と考えている。			
予算額	-千円	決算額	119千円	評価	5. 100%
事業目標					
<b>アウトプット指標</b>	実施者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：500人/701人 【達成度】 100%）・医療機関への新規および継続受診の促進・受診率 H28：585名 H29：595名 (H25実施者数：572名) [-]				
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)				

9事業名	<b>2次健診の受診料全額補助（除く人間ドックによる対象発見）</b>				
健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり</p> <p>1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路</p> <p>生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>				
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】 病気の早期発見 【概要】 精密検査・再検査の実施		
事業分類	3-ア,3-イ	対象者	<b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～74 <b>対象者分類</b> 全員		
新規・既存区分	既存				
実施主体	1. 健保組合				
実施計画 (平成28年度)	・継続				
振り返り	<b>実施状況・時期</b>	受診者数 351人			
	<b>成功・推進要因</b>	健保が全額補助しており、2次健診の受診率向上に寄与している。			
	<b>課題及び阻害要因</b>	さらなる2次健診の受診率向上対策を、事業主とともに講じていく。			
予算額	-千円	決算額	3,447千円	評価	4. 80%以上
事業目標					

<b>アウトプット指標</b>	実施者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：300人/351人 【達成度】 100%） ・ 医療機関への誘導と医師の指導による生活習慣の改善 ・ 受診者数 H28：300名 H29：310名 (H25実施者数：293名) [-]
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)

10 事業名 **健康管理室での健康相談・保健指導**

健康課題との関連	<p>■循環器系疾患、内分泌・栄養、腎尿路系疾患を含めた生活習慣病関連傷病は、医療費の多くを占めている。</p> <p>■医療費も罹患数も多い高血圧性疾患は、30歳以上の全年代で発症している。</p> <p>■糖尿病は1型糖尿病を除くと40歳代前半に多い。</p>		
予算科目	疾病予防	事業の目的	【目的】 病気の早期発見・健康指導・インフル予防
事業分類	4-ア,4-イ	および概要	【概要】 医師・看護師による診断・指導実施・インフル予防接種実施
新規・既存区分	既存	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 全員
実施主体	3. 健保組合と事業主との共同事業		
実施計画 (平成28年度)	継続		
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 月2回（本社にて）実施</p> <p><b>成功・推進要因</b> 医療職による面談であり、指導による（本人の）納得度に効果がある。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 特段の課題は認識していないが、今後、特定保健指導の実施率向上の仕組みが必要と考えている。</p>		
予算額	- 千円	決算額	3,000 千円 評価 5. 100%

事業目標

<b>アウトプット指標</b>	指導実施者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：-人/-人 【達成度】 -%） ※アウトプット指標は平成29年度から設定予定 ※事業主において測定[-] 予防接種実施者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：-人/-人 【達成度】 -%） ※アウトプット指標は平成29年度から設定予定 ※事業主において測定[-]
<b>アウトカム指標</b>	現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)

11 事業名 **メンタルヘルス**

健康課題との関連	<p>■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり</p> <p>1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器</p> <p>5.内分泌・栄養 6.腎尿路</p> <p>生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。</p>
----------	--

予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】精神疾患防止と傷病手当軽減 【概要】保健同人社「心の相談」に委託（電話・メール・面談）		
事業分類	3-エ,6				
新規・既存区分	既存	対象者	資格	被保険者・被扶養者	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 全員
実施主体	1. 健保組合				
実施計画 (平成28年度)	継続				
振り返り	実施状況・時期	年間利用者数81名 データヘルス計画での分析に基づき、効果があると思われる時期に2回チラシを配布。 被扶養者の健診案内にも「こころの相談」チラシを同封配布した。			
	成功・推進要因	チラシ・ホームページ等による被保険者・被扶養者への制度の告知を実施している。			
	課題及び阻害要因	必要な保健事業であるが、匿名相談でありアウトカムの測定が困難である。			
予算額	-千円	決算額	1,080千円	評価	4. 80%以上
事業目標					
アウトプット指標	相談件数（【現行値】-【計画値/実績値】平成28年度：100件/81件 【達成度】81%）・相談件数 H28：70件 H29：90件 (H25：55件) [-]				
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)				

12事業名	家庭用常備薬購入補助金制度				
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
予算科目	疾病予防	事業の目的 および概要	【目的】健康管理対策の一助 【概要】家庭用常備薬購入斡旋し 購入金額の一部を補助		
事業分類	3-オ				
新規・既存区分	既存	対象者	資格	被保険者・被扶養者	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 全員
実施主体	1. 健保組合				
実施計画 (平成28年度)	継続				
振り返り	実施状況・時期	既存加入者に常備薬斡旋パンフを配布、一部金額（最高1,500円まで）を補助			
	成功・推進要因	定期的実施しており、加入者の健康増進（セルフメディケーション）に寄与している。			
	課題及び阻害要因	必要な保健事業であるが、医療費削減効果などアウトカムの測定が困難である。			
予算額	-千円	決算額	1,679千円	評価	4. 80%以上
事業目標					

<b>アウトプット指標</b>	補助件数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：-件/-件 【達成度】 -%）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定[-]
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)

13	<b>事業名</b>			<b>インフルエンザ予防接種の補助金支給</b>		
<b>健康課題との関連</b>		■疾病別医療費割合の順位は以下のとおり 1.呼吸器 2.消化器 3.精神 4.循環器 5.内分泌・栄養 6.腎尿路 生活習慣病関連傷病が上位に含まれる。				
<b>予算科目</b>		疾病予防	<b>事業の目的</b>		【目的】健康管理対策の補助	
<b>事業分類</b>		3-オ	<b>および概要</b>		【概要】インフルエンザ予防接種の代金の一部を補助し、医療費の削減を図る	
<b>新規・既存区分</b>		既存	<b>対象者</b>		<b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～74 <b>対象者分類</b> 全員	
<b>実施主体</b>		1. 健保組合				
<b>実施計画</b> (平成28年度)		継続				
<b>振り返り</b>		<b>実施状況・時期</b> 利用者数485名（補助金額1人あたり、1,000円） 利用案内を事前に配布、ホームページも利用し周知を図った。 <b>成功・推進要因</b> 定期的に実施しており、加入者の健康増進（インフルエンザ予防）に寄与している。 <b>課題及び阻害要因</b> 必要な保健事業であるが、罹患率や医療費削減効果などアウトカムの測定が困難である。				
<b>予算額</b>		-千円	<b>決算額</b>		485千円	<b>評価</b> 3. 60%以上

<b>事業目標</b>						
<b>アウトプット指標</b>	補助者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：-人/-人 【達成度】 -%）※アウトプット指標は平成29年度から設定予定[-]					
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)					

14	<b>事業名</b>			<b>スポーツクラブ補助</b>		
<b>健康課題との関連</b>		該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
<b>予算科目</b>		体育奨励	<b>事業の目的</b>		【目的】健康・体力・運動習慣づくり	
<b>事業分類</b>		8-イ	<b>および概要</b>		【概要】スポーツクラブ利用補助	
<b>新規・既存区分</b>		既存	<b>対象者</b>		<b>資格</b> 被保険者・被扶養者 <b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 18～74 <b>対象者分類</b> 全員	
<b>実施主体</b>		1. 健保組合				
<b>実施計画</b> (平成28年度)		・継続				

振り返り	<b>実施状況・時期</b>	利用者数 1,590人			
	<b>成功・推進要因</b>	継続実施しており、加入者の健康増進（運動習慣）に寄与している。			
	<b>課題及び阻害要因</b>	運動してもらいたい層の利用が少ないと考えている。また、利用者数が減少傾向である。			
予算額	-千円	決算額	3,472千円	評価	4.80%以上
<b>事業目標</b>					
<b>アウトプット指標</b>	利用者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：1,500人/1,590人 【達成度】 100%） -[-]				
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)				

15	事業名	<b>契約保養所</b>			
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
予算科目	その他	事業の目的 および概要	【目的】 リフレッシュ 【概要】 被保険者・被扶養者の保養		
事業分類	8-イ	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 全員		
新規・既存区分	既存				
実施主体	1. 健保組合				
実施計画 (平成28年度)	・継続				
振り返り	<b>実施状況・時期</b>	利用者数 211人（28年4月～6月）			
	<b>成功・推進要因</b>	補助金の充実度（1泊あたりの補助金が、他健保比多い）。 家族等との休暇時のメンタルリフレッシュ効果。			
	<b>課題及び阻害要因</b>	利用者が限定されていると考えている。また、アウトカム（満足度等）の測定が困難である。			
予算額	-千円	決算額	5,034千円	評価	4.80%以上
<b>事業目標</b>					
<b>アウトプット指標</b>	利用者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：2,000人/211人 【達成度】 -%） ・利用者数 H29：2,000名 (H25実施者数：1,833名) [*実績値は28年4～6月]				
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)				

16	事業名	<b>旅行宿泊補助</b>			
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
予算科目	その他	事業の目的 および概要	【目的】 リフレッシュ 【概要】 被保険者・被扶養者の保養		
事業分類	8-イ	対象者	資格 被保険者・被扶養者 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 全員		
新規・既存区分	既存				

実施主体	1. 健保組合				
実施計画 (平成28年度)	・継続				
振り返り	<b>実施状況・時期</b>	<東急ハーベストクラブ> 1,085人 <かんぼの宿・ハイツ&いこいの村> 27泊26名			
	<b>成功・推進要因</b>	宿泊施設等のメニューの充実度。			
	<b>課題及び阻害要因</b>	特段の課題は認識していないが、定期的な補助内容の見直しが必要と考えている。			
予算額	-千円	決算額	8,764千円	評価	5. 100%

事業目標	
<b>アウトプット指標</b>	利用者数（【現行値】-【計画値/実績値】平成28年度：600人/1,085人 【達成度】100%）・利用者数（のべ数） H29：700名 (H25：641名) [-]
<b>アウトカム指標</b>	本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)

17	事業名	えらべる倶楽部					
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）						
予算科目	その他	事業の目的 および概要	【目的】健康増進、保養リフレッシュ				
事業分類	8-イ		【概要】契約旅館、ホテル宿泊に対し1泊当たり2,000円を補助。利用可能スポーツクラブの拡大、とディズニーランド等利用メニューの拡大による新たなリフレッシュ方法提供での健康増進、メンタルケア。				
新規・既存区分	既存	対象者	<b>資格</b> 被保険者・被扶養者	<b>対象事業所</b> 全て	<b>性別</b> 男女	<b>年齢</b> 0～74	<b>対象者分類</b> 全員
実施主体	1. 健保組合						
実施計画 (平成28年度)	・継続						
振り返り	<b>実施状況・時期</b>	契約保養所宿泊利用、541名（28年7月～29年3月） スポーツクラブ利用309名、ディズニー・USJ201名、、レジャー観光施設利用91名、相談・ライフプラン45名、イーラーニングスキルアップ30名ほか。					
	<b>成功・推進要因</b>	宿泊施設の多さと宿泊メニューの豊富さ。育児相談、介護相談等生活相談も含め利用メニューが多いこと。					
	<b>課題及び阻害要因</b>	宿泊補助金の金額の妥当性を見極め。					
予算額	-千円	決算額	11,301千円	評価	4. 80%以上		
事業目標							

**アウトプット指標** 利用者数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 平成28年度：600人/541人 【達成度】 90%）・利用者数（のべ数）  
H29：700名  
（H25：641名） [-]

**アウトカム指標** 本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため  
（アウトカムは設定されていません）